

教科または領域	体育	
対象学年	小学校5・6年	
授業場所	体育館	
単元	跳び箱	
単元の目標	<p>○自分に合った跳び箱を跳ぶ。</p> <p>○模範となる跳び方と、自分の跳び方を比較し、自分の課題について考える。</p> <p>○自分の課題を克服するための練習に取り組み、解決する。</p>	
単元の指導計画	<p>全6時間</p> <p>第1次 自分の力を知るとともに、跳び箱を楽しもう。(1時間)</p> <p>第2次 模範演技を見て、自分の課題を探そう。(2時間)・・・本時</p> <p>第3次 自分の課題を克服するための練習に取り組もう。(3時間)</p>	
本時のねらい	自分の跳んでいる様子を客観的に見ることで、自分の課題を見つける。	
指導計画	導入	<p>(1) 模範の跳び方を見て、跳び方のポイントをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを用いて、動画をコマ送りでわかりやすく見せる。 ・ポイントは「踏みきり・着手位置・空中姿勢・着地」の4点。
	展開	<p>(2) ポイントを意識して練習をする。</p> <p>(3) 自分たち(グループ)が跳んでいる様子を、デジタルカメラ(動画)で撮り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮ってもらったものを自分で見て、課題を見つける。 ・適時児童を集めて、何人かの課題について全体で考える。(教え合いの場) <p>(4) 自分の課題を考えながら練習に取り組む。</p>
	まとめ	<p>(5) 上手な児童の動画を見て、自分の跳び方と比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回へのめあてを考えさせる。
その他：		
<p>跳び箱などの器械運動では、自分がどの様に運動しているのかがわかりにくい。言葉で説明しても、なかなか課題が明確にならない。そこでデジタルカメラを使うことで、自分の跳んでいる様子を客観的に観察し、より具体的な指導につながると考えられる。また、感覚で運動している児童に対しても、動画を見せながら、どの部分が上手なのかを伝えることができる。</p>		